

賛同 2,472人
(うち匿名365人)

今年で43回目です。

憲法9条を世界へ

「あの時は、まだ平和だった」と後悔しないために

戦争の準備をしている場合じゃない!

赤んぼ

FAX 097-544-7503

秋の
総会

ライフパル
2階 会議室

- ・今後の意見
広告について

〈新聞未掲載の方〉

- 平川 智子
- 古澤 政夫
- 小野サチ子
- 小野 久
- 小野みどり
- 太田 牧枝
- 小手川裕市
- 相澤 聖二
- 広田 雅鑑
- 井上 順子
- 桜井 妙佳

2025年5月9日 最高裁が安保法制違憲訴訟・大分の上告を棄却

この訴訟では、2014年の集団的自衛権容認の閣議決定と2022年の敵基地攻撃能力の保有を明記した安保3文書の閣議決定及び2015年の新安保法制によって憲法9条が脅かされ、戦争の不安という精神被害を被ったこと、また憲法96条の手続きによらない事実上の改憲によって憲法改正国民投票に参加する機会を剥奪されたことの2点が国家賠償法上違法であり憲法に違反すると主張しました。しかし最高裁は「事実誤認または単なる法令違反を主張するにすぎない」として斥け、今急速に進む軍事化の動きに対して私たちの抱く戦争の不安は漠然としており、まだ現実化していないとしてその権利性を否定したのです。（安保法制違憲訴訟：大分の上告棄却を受けての声明より抜粋）

— 1 —

沖西ネットが政府に迫る！ 市民の訴え、響く五〇〇人の声

大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会
戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク

両運営委員 池田 年宏

去る6月、「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク（以下、沖西ネット）」が主催し、政府との画期的な対話が実現しました。事前に沖縄・西日本各地と沖西ネットで要請・質問書を交わし、当日の交渉に臨みました。オンラインを合わせて500名もの市民が参加し、政府関係者100名に対し、「軍拡に反対し、戦争をしないこと」を力強く訴えました。翌日の交流集会も大盛況で、2日間延べ一〇〇〇名以上がこの取り組みに参加しました。これは、市民が主体となって政府に平和を求める、まさに歴史的な一歩と言えるでしょう。

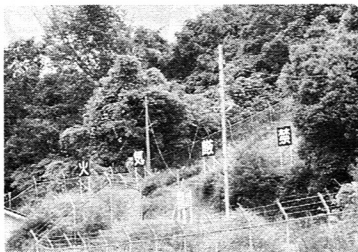
忍び寄る戦争の足音

大分に迫るミサイル配備

私たちの身近な場所でも、戦争への準備が着々と進められています。大分市にある陸上自衛隊大分

分屯地（通称「敷戸弾薬庫」）では、長射程ミサイル用の大型弾薬庫9棟の建設が始まりました。特に敷戸弾薬庫の場合、周辺の住宅地や施設との間に十分な保安距離が確保されるとは到底思えません。これは、国際法の軍民分離原則に反する行為です。原発と同じく事故と無縁ではない弾薬庫へのミサイル配備が、今年一二月にも行われようとしています。

すでに湯布院駐屯地には、水陸機動団や九州・沖縄のミサイル部隊を統括し戦争の口火を切ることになる「第2特科団」に加え、ミサイル連隊も設置されました。日出生台演習



国道10号線に面した敷戸弾薬庫

場では、通常の訓練に加え、他国との共同訓練の頻度が高まり、宮古島や石垣島の自衛隊車両も日常的に展開するまでになっています。このような中、「大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会」や「湯布院駐屯地『敵基地攻撃』ミサイル問題を考えるネットワーク」をはじめ、市民による抗議の声は日増しに大きくなっています。私たちは戦争の加害者にも被害者にもなりたくありません。大分県や大分市、由布市など関係自治体も、国に対して毅然と抗議すべきです。

沖縄の島々から都市へ

西日本に広がる軍事化の現実

大分だけではありません。沖縄・西日本各地で進む戦争体制づくりの実態と、その煽りを受ける地域住民の状況は凄まじいものがあります。

与那国島では、人口一七〇〇人の島に、二〇〇〇人の自衛隊員が駐屯しており、島の社会構造に大きな影響を与えています。高校がないため、若者は中学卒業と同時に島を出ざるを得ず、文化の継承も困難になっています。介護施設は職員不足のため入所者は島外へ、

医療機関も閉鎖されるなど、生活基盤が揺らいでいます。国民保護法による避難を待たずして、小さなお子さんを持つ家族はすでに島を離れているという、看過できない現実があります。

9/11～9/25に過去最大規模で実施される日米共同軍事訓練「レゾリュート・ドラゴン2025」、草の根の会が反対集会を日出生台ゲート前で予定しています。

是非、ご参加を!!

問合せ>090-5948-5679(梶原)

鹿児島県の西之表市では、馬毛島の基地建設に伴う工事従業員の滞在により家賃が高騰し、市民が入居できない事態が発生しています。豊かな海に囲まれているにもかかわらず、漁船は工事関係者の輸送を担い、漁業は壊滅状態です。食卓から地元の魚が消えるという、悲しい現実が起きています。

九州・関西に広がる軍拡

市民の連携で平和を創る

福岡県の築城基地では、米軍普天間飛行場の返還促進を口実に滑走路が2700メートルへと延長されるほか、米軍岩国基地の緊急

時の代替使用としての軍事化、米軍隊舎の建設、米軍との混合基地化が進んでいます。兵器や軍用車両の移動が熊本の名駐屯地と築城基地を結ぶ高速道路で行われるなど、民間空港・港湾だけでなく、日常的に使う道路の軍事使用も常態化しています。

佐賀駐屯地に配備されたオスプレイは日常的に九州全体を危険に晒します。宮崎の新田原基地に配属予定のF35Bも往来し、さらなる爆音をまき散らすこととなります。広島・呉の自衛隊海上輸送群、京都・祝園の巨大弾薬庫など、九州から関西に広がる大規模な軍拡が進められています。長崎の佐世保港を中心とする急激な軍事化、熊本・健軍にも大分と同じく長射程ミサイル配備があること、鹿児島・さつま町の弾薬庫計画など、沖縄・九州全体、そして関西に危機的な現状が広がっています。

私たち市民の連携は、このような状況だからこそ、ますます求められています。平和を創り出すのは他ならぬ私たちです。今、ここから始めましょう。戦争を止め、平和な社会を次世代に引き継ぐために、あなたも一緒に声を上げませんか。



DANNY JIN

“愛と平和とヒップホップ”

パレスチナにルーツを持つ20才のヒップホップラッパー ダニー・ジンの九州ライブツアー（最終日）が、7月21日大分祝祭の広場で開催され、のべ100人の聴衆が魅了されました。



Official Shop

history 歴史

(DANNY JIN 2nd アルバム DREAM...より)

生まれたときから 不自由縛られ
親 兄弟 子供 不条理に殺され
そこで生まれる惜しみだけに文句つけ
自分達に当てはめて考ないたわけ
政治に無関心で起こるわけない刷新
戦争が起きたらくそもない出世立身
“苦しい毎日”を生き延びるのに必死
無視するオランダでの判決とアンネの日記
意味持った気にさせる暗記だけの教育
その暗記すらも曖昧な始末で体たらく
平和都市が打ち出すポリシーは二重基準
無念の元 残されたレガシーも虚しく
繋がれた歴史 自分達が今の主役
過去の過ちや失敗を反省せず
口先だけで語る反戦なら叶わず
石に刻まれた 繰り返させぬ の意思は消える
どいつもこいつも歴史から学ばず
ドイツも日本も口先だけで終わる
過去を覗かずに惨劇を繰り返し
歴史がお前らの過去を覗くとき恥さらし
どいつもこいつも歴史から学ばず
19のガキにこんなクソな事を歌わす
歴史は過去のデータの蓄積
それを見ずに見るこの先
また歩む血の道
数千年の人類の営み記す系譜
様々な場所での数々の悪魔に英雄
記憶が記録になり時を超えて經由
未来作る手を腐らせぬよう過去を見つめる
テロリストがどうたらお前らはほざくが

彼らが己の手を赤色に染めた理由が
考えないお前らは恥ずかしい赤っ恥
同じ立場立ったら俺らだってわからない
ベンが剣に変わったこの時代に
知識不足のお前らまるで丸腰の侍
腐りはてた歴史教育が血の道へさすらい
無知の知すらなきや 権力の傀儡
簡単に淡々に仲間殺され
反乱へと身を投ず判断強め
それを無責任にテロと呼び片付けるたわけ
同じ立場想像しない 歴史繰り返す訳
どいつもこいつも歴史から学ばず
ドイツも日本も口先だけで終わる
過去を覗かずに惨劇を繰り返し
歴史がお前らの過去を覗くとき恥さらし
どいつもこいつも歴史から学ばず
19のガキにこんなクソな事を歌わす
歴史は過去のデータの蓄積
それを見ずに見るこの先
また歩む血の道
どいつもこいつも歴史から学ばず
ドイツも日本も口先だけで終わる
過去を覗かずに惨劇を繰り返し
歴史がお前らの過去を覗くとき恥さらし
どいつもこいつも歴史から学ばず
19のガキにこんなクソな事を歌わす
歴史は過去のデータの蓄積
それを見ずに見るこの先
また歩む血の道

(作者の了承を得て掲載)

16国はどうか

参院選が終わった。結果は「これは、よほど踏ん張ってやっていかなければ恐ろしいことになる」と思われるものだった。新興極右政党が、一見、暮らしに苦しむ庶民のためと、姿勢をとりながら「日本人ファースト」や「大日本帝国憲法へ返そう」などのスローガンのもと、外国人排除を叫ぶ。そして今が苦しいと感じ、政府に不満を持っている人たちは、日本社会の本当に多くの場で外国人の人たちが働いてこの国を支えていると知りながら、彼らを排除すれば自分たちの暮らしが良くなるかも知れないと期待して、候補者の主張に乗り、その言葉の勢いのままに外国人だけでなく異議を唱える者の排除を叫ぶ。その勢いはまさに既成政党を凌駕するものだった。この上さらに政権党の中の一部の勢力と呼応して新たな政権が生まれてくるとなると。このままで、次の選挙が行われることになれば、「石破政権の方がまだましだった」というファシズム国家が生まれてしまう。

第二次世界大戦敗戦以後、民主主義に変わってから国家の政策決定は選挙で選ばれた国会議員による国会での議論によって決定されることになった。それが先の安倍政権あたりからだんだん怪しくなってきた。国会での議論を経ないまま閣議決定で国の重大な政策が決定されてしまう

ようになった。今思えばあの閣議決定に対しても私たちはもつとはつきりノーと言わねばならなかった。決定された内容が重大だったのでこちらの方に目が行ってしまつて、方法としての閣議決定を見過ごした。民主主義の壊れ方に加速度がついたのはあのあたりだったような気がする。他の人はともかく私自身このあたりから政府のやり方を細かく注視するのを怠るようになってしまった。

幸か不幸か現石破政権では数の原理も作用してあのような乱暴なやりかたはできなくなったが、防衛に関しては別とばかりに歯止め無しに膨らませてきている。沖縄と周辺の島がアメリカ対中国の戦略基地として武器や弾薬が配備されていっていることはほとんど報道されない。大分の弾薬庫の拡大計画も、先日佐賀に配備されたオスプレイもこの一環であることも。この歯止めなしの軍備増強とアメリカとの関係についても「日米安保」が触れてはならぬ掟のごとく国会で議論されることはない。条約であれ法律であれ不都合があればルールに則って変えられるはずなのに。

でもそれは民主主義が全うに機能してこそ実現できる。

近づくファシズムにたいして何ができるのか。一人一人ができそうなことを直ぐに始めなければ。東京に住む友人は抵抗する友を訪ねて旅に出た。今こそ正念場と言えよう。

(寄村仁子)

市民連続講座2025

第2回

「日本の民主主義と教育の課題」

講師> 迫 圭吾さん
(大分県教職員組合委員長)

とき> 9月13日(土)
13:30~

とこ> コンパル400号室

第3回

「日本の戦争加害～南京大虐殺～」(仮)

講師> 神戸 輝夫さん 他
(大分大学名誉教授)

とき> 12月13日(土)
13:30~

とこ> コンパル400号室

主催> 市民連絡会おおい

問合> 070-4088-0423
(永山)

意見広告賛同者が少なくなり、今年はなんと4紙掲載できたけど、来年はどうなることか。秋の総会で今後のことを話し合いますのでご参加を!

「南京大虐殺から88年」

戦後80年-
いまこそ直視しなければならない歴史がある

講師> 葛鳳瑾さん
(南京大虐殺からの生存者葛道栄さんの息子)

とき> 12月6日(土)
14:30~

とこ> アイネス大会議室

主催> 大分証言集会
実行委員会

問合> 090-6123-4313
(木野村)

「ミサイル攻撃基地と化す琉球列島-九州」

講師> 小西 誠さん
(軍事ジャーナリスト)

とき> 8月24日(日)
15:00~17:00

とこ> ホルトホール大分
3階 大会議室

主催> 数戸ミサイル問題を考える市民の会

問合> 080-1547-1323
(気賀沢)

平和のための戦争展 in大分

「戦後80年、核兵器も戦争もない 平和な世界と若者の未来」

～徳田 靖之さん・花崎 太智さん・服部 真央さん
(弁護士) (高校生平和大使) (APU大学生)

が語り合う若者の未来と平和～

とき> 8月31日(日)
13:30~16:00

とこ> コンパル3F
多目的ホール

一般> 500円 学生> 無料

問合> 090-1088-1563
(神戸)

○平和の歌
「平和の旅へ」
合唱団おおい

○「沖縄戦ガマの中の
できごと」
劇団 だいこんの花

声に出して読んでみましょう憲法九条

「戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権否認」

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

赤とんぼの会事務局 千七百〇八四一 大分市八坂北町3番52号(変わりました)
(TEL)090(1166)42118 (FAX)097(544)75003
(ホームページ)http://akatombo.com/ (郵便振込)015400012160